

平成18年度 事業報告書
(平成19年度事業計画書)

第4回定時総会

平成19年6月27日

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

ご挨拶

平素は、日本インターネット医療協議会(JIMA)に格別のご支援、ご高配を賜り誠に厚く御礼申し上げます。

JIMAでは、昨年度は18年度事業計画に沿って、特定非営利活動に係る三つの事業を中心に事業を推進実行して参りました。

eヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業では、eヘルス倫理コードに基づくトラストマーク付与の審査認定を、新規・更新計4件行いました。次に、eヘルス倫理コードの普及を目的としたeヘルス倫理コードマネージャー&アドバイザー講習会を2回開催、eヘルス倫理コードマネージャー・アドバイザー計8名の資格認定を行いました。研究会(フォーラム)開催事業では、昨年秋にJIMA会員及び一般の人を対象としたインターネット医療フォーラム2006を、国立成育医療センターにおいて開催いたしました。

また、昨今のインターネット環境の変化を踏まえ、サイトの自主的基準であるeヘルス倫理コードの改訂に向けた委員会を設置、5回のWG会議を重ねて基準の見直し作業を行って参りました。

インターネットの利用技術は日々進化しています。Web2.0ということばに表現されるような新技術、あるいはブログやSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)といったコミュニティサービスが登場していますが、新たなサービスには、その質を確保するための新たな工夫や基準の設定が必要になってきます。民間の自主的ガイドラインとして、先進的にeヘルス倫理コードを策定・運用してきたJIMAでは、仮想空間の登場などで今後さらに大きく発展・変化していくであろう将来も展望しながら、思いきった改訂見直しを行い、ここにVer2.0を決定発表できる運びとなりました。多忙な中、改訂作業に取り組んでいただきました関係者の皆さまにはこの場を借りて御礼申し上げます。

平成19年度は、このeヘルス倫理コード2.0の活用により、本基準に基づくトラストマーク付与の審査認定事業の推進・拡大をはかっていくとともに、広報活動にも力を入れ、JIMAの理念の浸透に向けた積極的な事業展開をはかっていく所存です。まだまだ力の足りないところもありますが、皆さま方の力をお借りしながら、先鋭のNPO組織として成長できるよう頑張りたいと存じます。

会員各位、並びに関係者の皆様におかれましては、何卒いっそうのご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年6月27日

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会
理事長 辰巳治之

平成18年度事業概要報告

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

1. 事業成果

平成18年度も前年同様、信頼性のあるWebサイトの運用基準を示すeヘルス倫理コード基準によるサイトの審査認定(トラストマーク付与)事業を行った。インターネット環境等の変化を踏まえ、自主的基準の見直しが必要と考え、eヘルス倫理コードの改訂に向けた委員会を設置、検討作業・WG会議の開催等を行った。また、eヘルス倫理コードの効率的な運用・普及を目的とした、eヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの資格認定のための講習会を開催した。さらに、会員及び一般の人も参加対象とした医療分野でのIT利用に関する研究会(フォーラム)を開催した。

2. 主な事業の詳細

1) eヘルス倫理コードによるサイトの審査認定事業

eヘルス倫理コードに基づき審査を行い、基準準拠サイトにトラストマークを付与する審査認定事業を行った。新規が1件、更新が4件だった。本年は、eヘルス倫理コードの見直し作業があったため、新規の審査認定件数は最小限にとどまった。

2) eヘルス倫理コードマネージャー&アドバイザー講習会

組織・機関の中にあつて、eヘルス倫理コードの運用を行うeヘルス倫理コードマネージャーと、内外からコンサルティングやサポートを行うeヘルス倫理コードアドバイザーを育成する講習会を開催した。2006年5月、7月の2回の開催で、マネージャーを1名、アドバイザー7名を資格認定した。

3) 研究会(フォーラム)の開催

JIMA会員及び一般の人を対象とした研究会(インターネット医療フォーラム2006)を、平成18年11月22日に、東京・国立成育医療センターにおいて開催した。同センターの山野辺・医療情報室長の基調講演ほか、7題の一般口演の後、参加者をまじえて活発なパネルディスカッションを行った。

4) その他、本協議会の事業目的に定める事項の推進実行

本法人の趣旨・活動状況に関し、関係各方面への広報に努めるとともに、他の関連団体や組織との交流、情報交換を積極的に行った。

平成18年度 事業報告書

平成 18年 4月 1日から 平成19年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 日本インターネット医療協議会

1 事業の成果

平成18年度も昨年同様、信頼性のあるWebサイトの運用基準を示すeヘルス倫理コード基準によるサイトの審査認定(トラストマーク付与)事業を行うとともに、eヘルス倫理コードの運用・普及を目的とした、eヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの資格認定のための講習会を開催した。さらに、JIMA会員及び会員外の一般も参加対象とした医療分野でのIT利用に関する研究会(フォーラム)を開催した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
サイト認定事業(マーク付与)	サイトの審査認定及びトラストマークの付与	通年	インターネットにより特に限定なし	10名	医療機関、企業、団体等 5件	62
eヘルス倫理コード講習会事業	eヘルス倫理コードマネージャー及びアドバイザー資格認定のための講習会開催	5月、7月	東京	3名	医療機関、企業、団体等 8名	240
研究会事業	医療分野でのIT利用に関する研究会(フォーラム)の開催	11月22日	東京	10名	医療関係者、企業、市民等 45名	8

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者の人数	支出額(千円)

特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(単位：円)

NPO法人日本インターネット医療協議会

自 平成18年 4月 1日 至 平成19年 3月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

入会金収入	164,000
正会員会費収入	108,000
賛助会員会費収入	250,000
寄付金収入	1,000,000
サイト認定事業収入	240,000
講習会事業収入	779,370
研究会事業収入	63,000
受取利息収入	232

経常収入 計 2,604,602

【事業費】

サイト認定事業費	62,500
講習会事業費	240,323
研究会事業費	7,940

当期事業費 計 310,763

合 計 310,763

事業費 計 310,763

【管理費】

事務受付費	600,000
通 信 費	240,383
旅費交通費	235,020
会 議 費	118,253
事務用品費	68,130
消耗品費	14,452
新聞図書費	7,140
印刷費	110,363
事務所賃借費	360,000
コンピュータ関連費	230,460
振込手数料	9,446
雑 費	170,270

管理費 計 2,163,917

経常収支差額 129,922

[その他資金収支の部]

【その他資金収入】

その他資金収入 計 0

【その他資金支出】

その他資金支出 計 0

当期収支差額 129,922

前期繰越収支差額 70,955

次期繰越収支差額 200,877

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

(単位：円)

NPO法人日本インターネット医療協議会

平成19年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		流動負債 計	0
現 金	191,871	負債の部合計	0
普通 預金	9,006	正味財産の部	
現金・預金 計	200,877	【正味財産】	
流動資産合計	200,877	正味 財産	200,877
		(うち当期正味財産増加額)	129,922
		正味財産 計	200,877
		正味財産の部合計	200,877
資産の部合計	200,877	負債・正味財産の部合計	200,877

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

(単位：円)

NPO法人日本インターネット医療協議会

平成19年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金

191,871

普通預金

9,006

現金・預金計

200,877

流動資産合計

200,877

資産の部 合計

200,877

《負債の部》

【流動負債】

流動負債 計

0

負債の部 合計

0

正味財産

200,877

平成18年度会計決算報告

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

監事 大山 博司 殿

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会の平成18年度
会計決算を別紙のとおり報告いたします。

平成19年 6月 18日

理事長 辰巳 治之



平成18年度監査結果報告

(自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)

理事長 辰巳 治之 殿

理事長から提出された平成18年度会計決算報告を監査した結果、
内容は正確適正であることを認めます。

平成19年 6月20日

監事 大山 博司



会員動向報告

1. 会員数 (平成19年6月16日現在)

内訳	正会員	62名
	賛助会員	8社
合計		70名(社)

2年以上の会費未納者は除外。

2. 平成18年4月以降、平成19年3月31日現在までの新規会員数

内訳	正会員	7名
	賛助会員	3社
合計		10名(社)

平成 19 年度事業計画書

(平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会

1 事業実施の方針

平成 19 年度は、eヘルス倫理コードの改訂版(Ver2.0)が確定するのにあわせ、新基準に基づくサイトへのトラストマーク付与の審査認定事業を本格展開する。本コードのいっそうの普及に向けて、積極的な広報を行うとともに、医療機関・企業・患者団体等 に対し受審をすすめていく。また、eヘルス倫理マネージャー及び同アドバイザーの育成を目的とした講習会も継続していく。研究会事業として、秋～冬に、会員及び一般の人を対象とした医療分野での IT 利用に関する研究会(フォーラム)を開催する。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業を以下に掲げる。

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額(千円)
サイト認定事業	サイトの審査認定及びトラストマークの付与	通年	インターネット利用により場所の限定なし	5名	医療機関、企業、患者団体等 15機関(社)	100
eヘルス倫理コード講習会事業	eヘルス倫理コードマネージャー及び同アドバイザー資格認定のための講習会開催	年2回	主に東京	3名	医療機関、企業、団体等 8名(社)	100
研究会事業	医療分野での IT 利用に関する研究会(フォーラム)の開催	秋～冬に1回	東京	5名	医療関係者、企業、市民等 50名	50

(2) その他の事業

なし

平成 19 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

自 平成 19 年 4 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日

(単位:円)

科目	金額		
I 収入の部			
1 会費・入金収入			
入金収入	170,000		
会費収入	520,000	690,000	
2 事業収入			
サイト認定事業収入	820,000		
講習会事業収入	450,000		
研究会事業収入	30,000	1,300,000	
3 その他収入	0	0	
当期収入合計		1,990,000	
前期繰越収支差額		200,877	
収入合計			2,190,877
II 支出の部			
1 事業費			
サイト認定事業費	100,000		
講習会事業費	100,000		
研究会事業費	50,000	250,000	
2 管理費			
事務受付費	600,000		
通信費	200,000		
旅費交通費	100,000		
会議費	100,000		
事務用品費	50,000		
消耗品費	30,000		
新聞図書費	10,000		
印刷費	150,000		
事務所賃借費	360,000		
コンピュータ関連費	100,000		
振込手数料	10,000		
水道光熱費	0		
雑費	20,000	1,730,000	
3 予備費			
予備費	20,000	20,000	
当期支出合計			2,000,000
当期収支差額			190,877
次期繰越収支差額			190,877

平成18年度～19年度役員名簿

(自平成18年4月1日 至平成20年3月31日)

(敬称略、アイウエオ順)

理事長	辰巳治之	札幌医科大学教授
副理事長	花井荘太郎	国立循環器病センター運営局調査課
副理事長	水島 洋	東京医科歯科大学情報医科学センター准教授
理事	伊藤雅彦	国際医療福祉大学臨床医学センター助教授
〃	小内 亨	おない内科クリニック副院長
〃	上出良一	東京慈恵会医科大学皮膚科学講座教授
〃	亀田俊忠	亀田総合病院理事長
〃	西藤成雄	医療法人西藤こどもクリニック院長
〃	中山健夫	京都大学大学院医学研究科教授
〃	畑 直成	畑内科クリニック院長
〃	藤谷護人	エルティ総合法律事務所(東京弁護士会)
〃	松岡萬里野	日本消費者協会参与
〃	三谷博明	日本インターネット医療協議会事務局長
〃	山中 昇	和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科教授
監 事	大山博司	両国東口クリニック副院長